第177号
郵政産業ユニオン PIWU TOKYO

郵政産業労働者ユニオン東京地方本部
104-0031 東京都中央区京橋3-6-3
京橋通郵便局5F
TEL・FAX　03-3535-5447
piwutokyo@yahoo.co.jp

20春闘は、私たちの暮らしと日本社会の未来がかかった春闘です。

安倍首相がすすめる“アベノミクス”は、大企業と富裕層だけを大儲けさせています。その一方で、私たちの生活は昨年の消費税率引き上げ、社会保障費の負担増大によって実質賃金はマイナスです。勤労者の平均所得は20年も下がり続けて１９９７年をピークに月額５万円も減っています。そして、非正規労働者が全体の４割に達し、貧困と格差が益々拡大しています。日本だけが賃下げされていることから『後進国』と言われるまでになっています。

この春闘で大幅賃上げを勝ち取り、生活を改善していきましょう。

大幅賃上げ、大幅増員を勝ち取ろう！

＝賃上げ要求額＝

- 正　社　員＝20,000円
- 短時間社員＝20,000円
- 月給制社員＝２３,000円
- 時給制社員＝どこでも最低時給
- 1,５00円以上
- 再雇用社員＝３０,000円
（フルタイム）

＝年間一時金要求＝

- 正　社　員＝４、４月
- 月給制社員＝４、４月
- 時給制社員＝平均賃金の４、４月
- 非正規社員の正社員化と均等待遇。諸制度や手当を正社員と同様にする等。

要員不足は益々深刻

Ｙ局集配労働者は、「夜勤欠区で通配をやってから夜勤をやる。その人は昼の休憩をとらず２時頃帰ってきて、少し休息して働き始める。事実上１２時間労働。これが当たり前のように行われている。このままいったら過労死する」と怒っていた。

労働時間は一日8時間・週40時間、8時間働いたら普通の生活がで

都内の一般職社員は、「毎月手取り２０万円にいかない。残業が多い月は超えることがあるが、ほとんどない。共催の掛け金が高いのも大変。仕事量が年々増大している割には賃金が安いので大幅賃上げをしてほしい」と声をあげています。

郵政産業労働者ストライキを背景に交渉

郵政ユニオン第８回中央委員会は、賃上げと労働条件の改善とあわせ、国民生活を破壊する安倍「暴走」政治を許さないたたかいに全力で取り組むことを決定しました。賃上げや大幅増員、非正規社員の正社員化と待遇改善など、全組合員が団結を固めストライキでたたかう体制を確立することを決めました。